



川中の  
荒だよ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」  
「笑顔と希望にあふれる学校づくり」

村上市立荒川中学校

令和6年度 第5号

令和6年9月13日発行

## 幸せは目指せるもの 校長 西村 諭

32日間の夏休みが無事に終了し、校舎に生徒の元気な声に戻りました。夏休み中、校内では暑さに負けず学習会、部活動、体育祭準備が行われました。また、各種大会や私の主張大会に参加して、磨いてきた力を発揮し素晴らしい成績を収める生徒がいました。

地域では、獅子踊りや民謡流しに参加し、地域の伝統文化を学ぶ生徒がいました。地域の皆様との触れ合いは、生徒にとって有意義な時間であり、それは先日行われた体育祭で、生徒会長が話した「地域に感謝の気持ちで伝わるように」という言葉にも表れていました。地域の皆様には、生徒の活躍の機会を作ってください、感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、2学期は体育祭をはじめ、総合学習発表会、青雲祭（合唱発表会）、いじめ見逃しゼロスクール集会等の行事を予定しております。それぞれの場面で、生徒一人一人がいきいきと活動に臨めるよう始業式で以下のような話をしました。

「ウェルビーイング」（日経文庫）の著者である前野隆司氏は、幸せを引き起こす元となる要素「幸せの4つの因子」について、次のように述べています。

①「やってみよう」因子：夢や目標に向かって「やってみよう」と主体的に努力を続ける等、主体性に

かかわる因子。

②「ありがとう」因子：「ありがとう」という感謝や、思いやりの気持ちを伝える等、他者とのつながりにかかわる因子。

③「なんとかなる」因子：常に「なんとかなる」と考えていけば、挑戦をおそれず行動に踏み出しやすくなる等、ポジティブに考える因子。

④「ありのままに」因子：ワクワクすることや得意なことを突き詰める。自分と他人をあまり比べずに、本当の自分らしさを磨く因子。

今日から2学期が始まります。まずは、目標を立てましょう。目標は大きくても小さくても構いません。また、苦手なことにも、何とかできると考え、自分らしく物事を進めてみましょう。皆さんの周りには多様な考えをもつ人がいます。相手の話をしっかりと聴き、ありがとうという感謝の気持ちを伝え、お互いに学び、支え合っていきましょう。過去を変えられることはできませんが、未来は変えられます。

2学期も、皆さんの頑張りや活躍を願っています。

私たちは、保護者・地域の皆様とともに、「笑顔と希望にあふれる学校」づくりに努めて参ります。ご意見やご相談等がありましたら、いつでも学校へお問い合わせください。